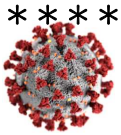
＊＊



新型コロナ版　ほけんだより

大仙市立大曲中学校保健室

令和２年５月１５日（金）

＊＊

緊急事態宣言解除　秋田県も！今何が大切かを確認しましょう。

■5月18日からの新型コロナ対応について■

　これまで玄関前で朝の検温確認を行っていました。18日からは形を変え、教室で検温確認、健康観察を行います。ご自宅でも発熱、咳、喉の痛み等の風邪の症状がないかのチェックを入念にお願いします。症状がある場合は、登校を見合わせてください。

■　朝、自宅で検温・健康観察できなかった生徒については登校後保健室前にて検温を行います。

→　37.0度以下であれば教室へ。（平熱37度以上者除く）。

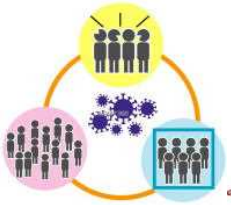
→　37.0度以上であれば別室にて経過観察。10分おきに検温を続け、熱・かぜ症状がなければ教室へ。

→37度以上の発熱があり、かぜ症状を伴う場合は保護者連絡にて帰宅してもらいます。

■マスクについて■

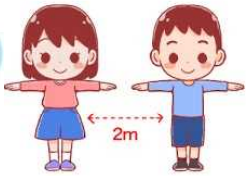
毎日準備し玄関に入る前に装着を済ませる。忘れた場合は保健室でもらう。

流れる水で
２０秒以上



密集・密閉・
密接　禁！

人とは２m以上
距離をとって！



■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」おわりに（令和 2 年 5 月 14 日）

　○ これまでの多くの市民の皆様のご協力により、新規感染者数は着実に減少傾向に転じるという一定の成果が現れており、専門家会議として、まずはこれまでのお一人おひとりのご協力に、心より感謝申し上げたい。5 月 12 日時点で、半数以上の県（28 県）で直近１週間にわたって、 新規感染者が確認されない状況になるなど、多くの県が、緊急事態措置の対象から解除された。しかし、引き続き１週間あたり 100 名を超える新規感染者が確認されている地域もあり、さらに、今後想定されうる流行シナリオとして、潜在化している感染連鎖が突如としてクラスターとして顕在化するようなケースや、これまで報告されているクラスターとは異なるタイプのクラスター感染（集団感染）の発生にも十分注意していく必要がある。このように、この感染症に対しては、長丁場での対応が予想される中、社会経済活動と感染拡大防止の両立を図っていくためには、社会経済の活動レベルを段階的に引き上げていく必要があるほか、感染の拡大の防止に向け、① 感染拡大が加速する場（クラスター連鎖の場）を徹底して避けること ②「身体的距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い」からなる基本的な感染対策などの実践といった感染防止の基本を守っていくことが重要となる。

　今の段階での分析が提示されています。警戒のレベルを下げず、形を変えた対応を続けていきたいと思います。生徒のみなさんの予防行動、ご家族の協力をお願い致します。

■□■